



AUE News

2012年12月15日

第 53 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



目次

- 行事予定(12月16-1月15日)
- トピックス
 - ・外国人留学生社会見学
 - ・安城市民防災フェア 60 に「科学・ものづくり教育推進センター」が出展
 - ・冬のランチタイムコンサート
 - ・読書マラソンコメント大賞表彰式
 - ・生駒野外実習地芋掘り・焼き芋大会
 - ・第78回天文台一般公開、ふたご座流星群特別観望会
 - ・音楽科学内演奏会
 - ・学内イルミネーション点灯
 - お知らせ・報告・投稿
 - ・学生選書ツアーとツアー購入図書の展示
 - ・招へい教職員による講演会
 - ・第2回ものづくりリテラシーセミナー
 - ・第3回読書カフェ
 - ・催しもの案内

行事予定(12/1-1/15)

- 18日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)
個人情報保護委員会 (役員部局長会議終了後、第五会議室)
- 19日(水) 情報システム実施管理委員会 (9:30～ 図書館会議室)
教員人事委員会 (13:30～ 第五会議室)
- 25日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 31日(月) 年末年始の休日 (1月3日まで)
- 1月7日(月) 教務企画委員会 (16:40～ 第二会議室)
学生支援委員会 (16:40～ 第五会議室)
- 8日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)
- 9日(水) 教育創造開発機構委員会 (9:30～ 大学会館2階中会議室)
代議員会 (16:40～ 第五会議室)
教育研究評議会 (代議員会終了後、第五会議室)
- 11日(金) 教員人事委員会 (16:40～ 第五会議室)
- 15日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
財務委員会 (15:30～ 第五会議室)

トピックス

外国人留学生社会見学(12/1)

国際交流センターが主催する外国人留学生のための社会見学旅行が12月1日(土)に実施されました。これは、学生ボランティアと国際交流センターが共同で企画・立案し「日本文化の見学と体験」「本学に在籍する日本人学生と外国人留学生の交流促進」を目的に毎年実施しているものです。

今回は、三重県伊賀地方への日帰り旅行で、外国人留学



生 17 人，日本人学生ボランティア 14 人が参加し，国際交流センターの稲葉みどり教授と教育創造開発機構運営課職員 4 人が引率しました。また，タイの協定校であるチェンライラチャパット大学から招へい中の事務職員ニコトーンスックさんも参加しました。



真冬の寒さとなった師走最初の土曜日，午前 9 時に観光バスで大学を出発。車中では学生企画のレクリエーションが行われ，自己紹介や質問クイズで大いに盛り上がりました。道中，伊賀ドライブインでは事前に決めた班ごとに早目の昼食をとり，初対面の参加者も早速打ちとけた様子でした。

往路は小雨が降るあいにくの天候でしたが，目的地に着く頃には雨も上がり，最初の見学地「伊賀忍者屋敷」を散策しました。「くノ一（くのいち）」に扮した案内人の説明や忍者ショー，各種展示物の見学をとおして参加者たちは日本の忍術文化に触れ，関心を深めた様子でした。

次いで伊賀上野の伝統工芸「組紐」の体験としてブレスレットやキーホルダーを作りました。真剣に紐を組み上げること約 1 時間，完成した手作りのお土産を手に，参加者は伝統工芸の奥深さを実感していました。

今回の旅行で留学生は日本人学生と積極的に交流し，日本の歴史や伝統文化に関心を持たれたようで，とても有意義な旅行になりました。（教育創造開発機構運営課 鴉田真史）



安城市民防災フェア 60 に「科学・ものづくり推進センター」が出展（12/2）



市制 60 周年記念事業の「安城市民防災フェア 60」が 12 月 2 日（日），同市文化センターで開催されました。午後からみぞれ交じりの寒い一日でしたが，2350 人の市民が参加しました。

このフェアは安城市がこの地域で危惧されている南海トラフ巨大地震に対し，「産・官・学・民」のネットワークを示すことが，減災まちづくりになると考え，参画企業・団体・市民による体験型のブース展示（50 カ所）を行い，誰もが防災・減災について楽しみながら学べるように企画されました。

安城市と包括協定を締結している本学は，科学・ものづくり教育推進センターから戸田茂准教授（理科教育），永瀬好文研究補佐員，戸田研究室の学生・院生が「おもしろ防災サイエンスショー」を企画し，参加しました。



東日本大震災発生直後に千葉県浦安市で起こった液状化現象の映像のほか，実験器を使って，埋め立て地などの水気を含んだ砂地盤が，連続した振動によって液状化する現象を実演で解説しました。

また，近年の異常気象で国内でもよくニュースとなる竜巻についても，トルネード発生器による実演が行われ，子どもから大人まで真剣な眼差しでその様子を見学していました。愛知県周辺の 3D 地形図が用意され，赤青メガネで立体的に観察するコーナーにも，多くの見学者が集まりました。



見学者からは、「巨大地震が発生したとき、自分の住む地域は液状化現象が起こるのか」「津波はどのあたりまで来るのか、規模はどのくらい想定されるのか」「巨大地震は必ず起きるのか」「原発地域に将来、地震発生の可能性はないのか」など多くの質問が寄せられ、地震災害に対する関心の高さがうかがえました。



冬のランチタイムコンサート (12/5)

季節ごとに開催されるランチタイムコンサートが、12月5日(水)、附属図書館2階のアイ♥スペースで、多くの学生や教職員が見守る中で行われました。



12月は音楽教育講座の全教員が出演。最初は、国府華子准教授と隈本浩明名誉教授のピアノで、モーツァルト作「4手のためのピアノソナタ K. 521より第1楽章」を息のあった連弾で披露しました。続いて、吉澤恭子准教授のハーディ・ガーディ、新山王政和教授のファゴット、橋本剛准教授のピアノによるC. ビュテルヌ作「第2集ソナタ第



4番ハ短調」。ハーディ・ガーディは弦楽器と鍵盤楽器を合わせたようなヨーロッパの古楽器。緩やかなバロックの旋律にのせて、温かな音色を響かせました。



林剛一教授は、バリトンで小林秀雄作「落葉松」、平井康三郎作「九十九里浜」をドラマチックに熱唱。ピアノの武本京子教授はリスト作「愛の夢 第3番」ショパン作「子犬のワルツ」を優雅に愛らしく、時に情熱的に演奏。中川洋子教授はソプラノでシューベルト作「Frühlingsglaube」



「Die Forelle」を感情豊かに歌い上げました。

アンコールでは「千の風にのって」を披露し、演奏家としての教員の一面を間近にした来場者からは、大きな、そして温かな拍手が送られました。

読書マラソンコメント大賞表彰式 (12/6)

読書推進の一貫として本学生生活協同組合と附属図書館が共催する「愛教大版 読書マラソンコメント大賞」の表彰式が12月6日(木)午後5時から、大学会館大集会室で行われました。

今年は、学生から98通の応募があり、11月の選考委員会で学長賞など各賞を決定。学長賞には「蝸ノ記」(葉室麟著)へコメントを寄せた伊藤美佳さん、図書館長賞は「夜は短し歩けよ乙女」(森見登美彦著)の石原鳳野佳さん、理事長賞は「東京公園」(小路幸也著)の寺山かなさん、きしゃぼっぽ賞には「浜村渚の計算ノート」(青柳碧人著)の岩月優子さん、「終末のフール」(伊坂幸太郎著)の橋本耕治さんが選ばれました。



松田正久学長が「最近の若い人は本を読まなくなりましたが、読書は人間形成に欠かせない作業です。一生で読める時間は限られています。就職するとなかなか時間がありませんから、残りの学生時代に読書をしてください」などとあいさつ。岩崎公弥図書館長は「伊藤さんは、体言止



めなどを入れながらメリハリのある文章が作品の面白さを伝えています」などと講評し、「読書離れといわれますが、読書の習慣をつけて人生を豊かにしてほしい」と述べました。さらに、子安潤生活協同組合理事長からは「コメント大賞に入選するには、自分の固有の意味をどこかに見いだすこと、長くならないこと」と入選のコツも伝授。それぞれの受賞者に賞状と賞品が手渡されました。

式の後、作家森見登美彦氏を招いてトークショーとサイン会が開かれ、学生ら50人ほどが参加し、にぎやかに交流が行われました。

生駒野外実習地芋掘り・焼き芋大会 (12/8)

豊田市の生駒野外実習地で、12月8日(土)午前10時から、芋掘りと焼き芋大会が行われました。

同実習地は大学関係者から本学へ寄附された土地を昨年から活用し、水田での稲作、畑でのサツマイモ、タマネギ等の畑作物の生産を試行的に行い、栽培・収穫、学内販売を行っています。栽培学習や近隣保育園の芋掘り活動、雑木林産物のものづくり学習にも役立てられています。この日は、5月に植えたサツマイモを収穫しようと、学内外へ呼び掛け、学生や教職員とその家族、地元住民ら50人ほどが参加しました。



技術教育の太田弘一教授、同園を管理する技術員の長友武志さんから、芋掘りの場所や掘り方が説明され、参加者はそれぞれ作業を開始。芋の茎の根本にできた地面の割れ目を頼りに、くわを入ると紫色のサツマイモの頭が見え、つるを引っ張って次々に収穫。子どもたちもスコップを手に大活躍、掘り出したら歓声を上げました。



畑の一角では、炭火で芋が焼かれ、参加者は収穫の合間に熱々の焼き芋を頬張って、「甘くておいしい」と堪能。さらに、収穫した芋を袋に詰めて持ち帰るお土産もあって、「楽しくて、美味しくて、お土産付きで最高です」と満足そうな笑顔で畑を後にしました。



この日収穫したサツマイモは、後日、機械で掘り出した残りのサツマイモと合わせて、学内で販売される予定です。

第78回天文台一般公開(12/8) ふたご座流星群特別観望会(12/13)

本学天文台の第78回一般公開が12月8日(土)午後5時から行われました。ミニ講座、3D上映、観望会に子どもから大人まで幅広い33人が参加しました。

午後5時からのミニ天文講座では、「流星群ってなに?—ふたご座流星群を直前に迎えて—」をテーマに澤武文教授(理科教育)が講演。流星群がなぜ毎年同じ時期に決まった方向から流れてくるのかを詳しく解説しました。また、今月13日(木)から14日(金)にかけてみられるふたご座流星群の観測について注意点を説明しました。質問コーナーでは、流星群や講演内容について取り上げられました。小さな男の子が元気よく手を挙げ質問する姿が微笑ましく、会場の雰囲気が和やかになりました。





午後6時からの観望会では、風が強く厳しい寒さの中、参加者それぞれが防寒具を身につけ冬の星空を楽しみました。直径40cmの望遠鏡では、木星や天王星といった惑星や散開星団などを観望。見る星が変わる度に、多くの方々が寒さを忘れて何度も望遠鏡を覗き美しさに感動していました。観望会と同時に3D上映を行い、1回20分の上映を2番組、澤研究室の学生が解説をしました。

13日には、ふたご座流星群の特別観望会が行われ、近隣から多くの家族連れが来場。快晴に恵まれ、肉眼でも星空がよく見え、「あっ、見えた!」「(星が)流れた!」とあちこちから歓声が上がりました。40cm望遠鏡では、その他の星の観測も行われ、参加者は冬の“天体ショー”を満喫していました。
(自然科学コース・宇宙物質科学専攻4年 伊藤実彩)

音楽科学内演奏会(12/12)

音楽科の学生による学内演奏会が12月12日(水)午後1時半から、音楽棟演奏室で開催されました。

演奏会は、学部の音楽選修・専攻の学生たちが毎年この時期に自主的に企画運営する恒例の催し。4部構成で、合唱をはじめ、声楽、ピアノ、管楽器、創作オペレッタまで多彩な27プログラムが繰り広げられました。



学生たちは、演奏はもとより、プログラム構成、衣装やステージの演出などもすべて手がけ、5時間近くにわたる演奏会で、日ごろ学んだ様々な成果を發揮。学生や家族など

多くの観客が耳を傾け、それぞれの発表に惜しめない拍手を送っていました。



学内イルミネーション点灯(12/13-1/20)

キャンパス内のバス停前ロータリーに、冬の風物詩、イルミネーションが12月13日(木)にお目見えしました。



イルミネーションは、美術選修・専攻の学生が5年前から毎年冬に刈谷駅前商店街のアクアモールで展示するために作製。それらの力作を展示して、冬の学内を明るくしようと、ここ数年は前年の作品の中から数点を展示しています。今年は、昨年のテーマ「海」の作品群から大作のアンコウとタコなどを施設課の職員が設置。夕闇迫る午後5時前から、赤や黄色など温かなイルミネーションが点灯して、温かな光を放っています。

イルミネーションの点灯は来年1月20日(日)まで、原則として午後5時~11時、毎日行われます。

お知らせ・報告・投稿

学生選書ツアーとツアー購入図書の展示(報告&お知らせ)

11月14日(水)、「学生選書ツアー」を丸善名古屋栄店で行いました。



ツアーは図書館に置いてほしい本、みんなに読んでほしい本などを学生自身が書店で選ぶ企画で、今年度2回目となります。

今回は初等社会・造形文化・美術選修・初等情報・初等美術等の学生6人が参加し、午後2時半から約1時間半の選書時間を設け、学生1人4万円という条件の下、選書が開始されました。

1時間半はあっという間で、時間ぎりぎりまで広い店内を巡って熱心に探したり、予算内に収まるように真剣

に本を選ぶ姿も見られました。

研究に必要な本や趣味の本、実用書など80冊が選書され、他の学生たちにも読みやすい本が選定されていました。

図書館ではこのツアーで選んでいただいた本を図書館カウンター前で、参加者がその本を選んだ理由を書いたコメントのポップと一緒に展示しています。学生手書きのポップが展示本を身近に感じさせるのか、立ち止まって選書された図書を眺める来館者もあり、既に多くの本が貸出されました。

参考書以外は貸出可能で、返却された後は所定の棚に配架されますが、今回購入した図書のリストを図書館ホームページに掲載する予定ですので、選ばれた本をチェックしてみてください。

展示は2月中旬まで行う予定です。ぜひご来館ください。



(情報図書課資料受入担当)

招へい教職員による講演会(報告)

11月27日(火)、台湾・台北教育大学からの招へい教員、翁麗芳先生を講師に迎え、招へい教職員による講演会(第2回)が開催されました。

幼児教育を専門とする翁先生の講演テーマは、「少子化台湾と日本の子育てについて」。出生率が日本を下回る少子化国・台湾における幼児教育の現状について、現在進められている「幼託整合」政策(日本の「幼保一元化」に相当)や、近年台湾で人気を博している私立幼稚園教育の特徴を紹介しながら解説しました。また、招へい期間中に実施した日本の幼稚園観察に基づくデータを使用し、日本と台湾の幼児教育について、その特徴や課題の比較検討も行われました。



日本でも早急な対策が求められている少子化を切り口とした講演に、松田正久学長をはじめ役職員や幼児教育選修の学生たちはメモをとりながら熱心に耳を傾け、活発な質疑応答も行われました。

講演終了後、翁先生より今回の招へいについて感謝の意が述べられると、松田学長からは労いの言葉とともに、日本と台湾をフィールドとした今後の研究のさらなる発展に、大きな期待の言葉が寄せられました。

(教育創造開発機構運営課 国際交流担当 宮内春菜)

第2回ものづくりリテラシーセミナー(報告)

11月30日(金)午後4時50分より、第二人文棟日本語教育演習室Iにて、元北海道教育大学教授の住田和子氏による講演会「エレン・リチャーズが今の世に伝えるもの—その思想と高等教育カリキュラムの可能性—」が開催されました。住田氏には公衆衛生学の確立とその教育に尽力した化学者リチャーズの思想を踏まえて、高等教育カリキュラムの可能性について話していた

できました。



共同体という環境において人間はどのように振る舞うべきか、生活の手段としての道具をいかに操るべきか、自覚と責任、そして限界を教えることの重要性が、リチャーズの1910年の著書『ユーセニクス (Euthenics)』を通じて示されました。普遍的な価値として、健康、責任、予防、安全に関わる問題を抽出、多様な視点を包括する枠組みの一つとして「いのちに及ぼす

影響」を強調されました。さらに、多様な視点の統合モデルを研究することで、学びの主役である学生に配慮したカリキュラムを作ることが必須であるとの指摘もありました。

ディスカッサントの太田弘一教授（技術教育）は、STS（科学・技術・社会）教育を基礎とする問題提起は農学の立場としても共感できるとした上で、La（リベラル・アーツ）科目の「ものづくりリテラシー」を定義する際には、科学から自立した技術論をいかに定位させるかが問題になると述べました。その他、様々な立場から意見が出され、「ものづくりリテラシー」の可能性を改めて実感する機会となりました。

（教育創造開発機構大学教育研究センター リベラル・アーツ教育部門研究員 長谷川詩織）

第3回読書カフェ(お知らせ)

本学の学生・教員参加型FD組織「あいこね」が、「第3回読書カフェ」を来年1月15日(火)午後5時～7時に、第一共通棟103教室(仮)で開催します。

愛教大に「カフェ」ができたのを、みなさんご存知でしょうか。その名も「読書カフェ」。お菓子とお茶を囲みながら、本を通して感じたこと・疑問に思ったことなどを語り合うイベントです。学生の方はもちろん、教員・職員の方のご参加もお待ちしております。写真は第1回の様子です。

今回の課題本は、宮沢賢治『グスコーブドリの伝記』。
参加希望の方は下記のメールアドレスに氏名・連絡先を送信し、当日までに課題本をお読みください。

申込み・問い合わせは、愛知教育大学 学生・教職員参加型FD組織 あいこね

E-mail:irisconande@gmail.com

(あいこね 学生メンバー 柘植みのり)



催しもの案内

◆第3回あかりアートの世界

12月18日(火)～24日(月) 17:00～20:00 入場無料

刈谷駅前商店街ギャラリー「スペースAqua」

宇納一公特別教授(美術教育)と彫刻研究室学生による電飾、オブジェ、立体作品の展示。

22日(土) 10:00～12:00 ワークショップ「きらきら壁飾りをつくろう」(有料)

24日(月) 16:00～17:00 クリスマスアカペラコンサート

問い合わせ: 刈谷駅前商店街 澤田さん TEL 0566・21・1109

◆理科離れ実相調査・ミニシンポジウム～学校と大学との連携～

12月22日(土) 13:00～16:30

自然科学棟5階538教室

問い合わせ: 理科教育講座 澤武文教授 TEL 0566・26・2624

E-mail:tsawa@aecc.aichi.edu.ac.jp

◆小中高英語教育教員研修会

12月22日(土)23日(日)10:00~17:00 参加無料、事前申込(12月20日まで)
第一共通棟3階

愛知教育大学教育創造開発機構 教員養成高度化センター 小中英語支援部門主催
ワークショップ、ポスターセッション、小中高の実践報告、講演、セミナー専修会、
シンポジウムなど。

詳細、申込は愛知教育大学小中英語支援室ホームページ

<http://aue-english.aichi-edu.ac.jp/>

問い合わせ：外国語教育講座 小中英語支援室 TEL 0566・26・2245

◆理科実験プレ教員セミナー

12月28日(金)9:00~17:00 参加無料

自然科学棟

愛知教育大学 科学・ものづくり教育推進センター主催。

生物学(9:00~10:30) 化学(11:00~12:30) 物理学(13:30~15:30) 地学
(15:30~17:00) の各実験講座。1講座のみの受講も可能。

申込み：理科教育講座 岩山勉教授 E-mail:tiwayama@aecc.aichi-edu.ac.jp

◆第79回愛知教育大学天文台一般公開

2013年1月12日(土)17:00~19:30 入場無料、予約不要

自然科学棟5階 地学538室

17:00~18:00 天文ミニ講座「ここはどこ?—パワーズオブテンの世界—」

講師：澤武文教授(理科教育講座)、18:00~19:30 観望会「木・

天・海の観望会」、「3D宇宙の旅」上映会

問い合わせ：理科教育講座 天文学研究室

TEL 0566・26・2624

ホームページ <http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

編集後記

冬本番、バス停前のロータリーに今年もイルミネーションが登場しました。夕闇の中で温かな光を放つ学生さんたちの作品に、ちょっぴり気持ちが温かくなります。そんな風景写真を大学の公式ホームページのトップ写真に採用してみました。今月18日からは刈谷駅前商店街のスペースAquaで冬恒例の「あかりアートの世界」展も始まります。毎回、学生と先生のユニークな発想の灯り作品に驚かされたり、ニンマリしたり。さて、今年はどんな作品が並ぶのか、楽しみです。

(K)

*

*

【お知らせ】毎月、1日付と15日付で発行の「AUE News」ですが、来年1月1日付は年末年始の休日のため、休みます。次号「AUE News第54号」は1月15日付となります。

今年も1年、ご愛読ありがとうございました。2013年も本学の話題を提供していきます。引き続き、投稿、情報提供、ご意見を、お待ちしております。皆さま、どうぞよい年をお迎えください。

投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者:総務担当理事 折出 健二